

三島村まち・ひと・しごと創生  
人口ビジョン（令和2年改訂版）

令和2年6月1日  
鹿児島県三島村

## 目 次

1	改訂にあたって	1
2	対象期間	1
3	人口の現状と分析	1
	（1）人口の推移等	1
	（2）出生・死亡、転出・転入の推移と分析	2
	（3）転入・転出の推移から見えること	3
	（4）産業分類別就業者数の分析	4
4	人口ビジョンの改定	5

## 1. 改訂にあたって

国では、まち・ひと・しごと創生法（平成 26 年法律第 136 号）に基づき 2019 年 12 月に、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（令和元年改訂版）」及び第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を公表しました。その戦略では、人口の減少に歯止めをかけること及び東京圏への人口の過度の集中を是正することが第 1 期に引き続き明確に掲げられ、地方自治体にもそれぞれの特徴を活かし地方創生に向けた取り組みを求めています。

こうしたことから、三島村人口ビジョンの改定では、引き続き、小さくてもきらりと光るアイランドみしまとして存続し、発展していくための人口の将来展望を示すものとします。

三島村の第 1 期の計画では2050 年に 500 人規模まで回復することを目標としていましたが、2019 年末の人口が 366 人であることを踏まえると、かなり厳しいものがあります。しかしながら、第Ⅱ期計画では、財政状況や様々な施策の展開等を踏まえつつも、積極的な人口ビジョンとしています。

## 2. 対象期間

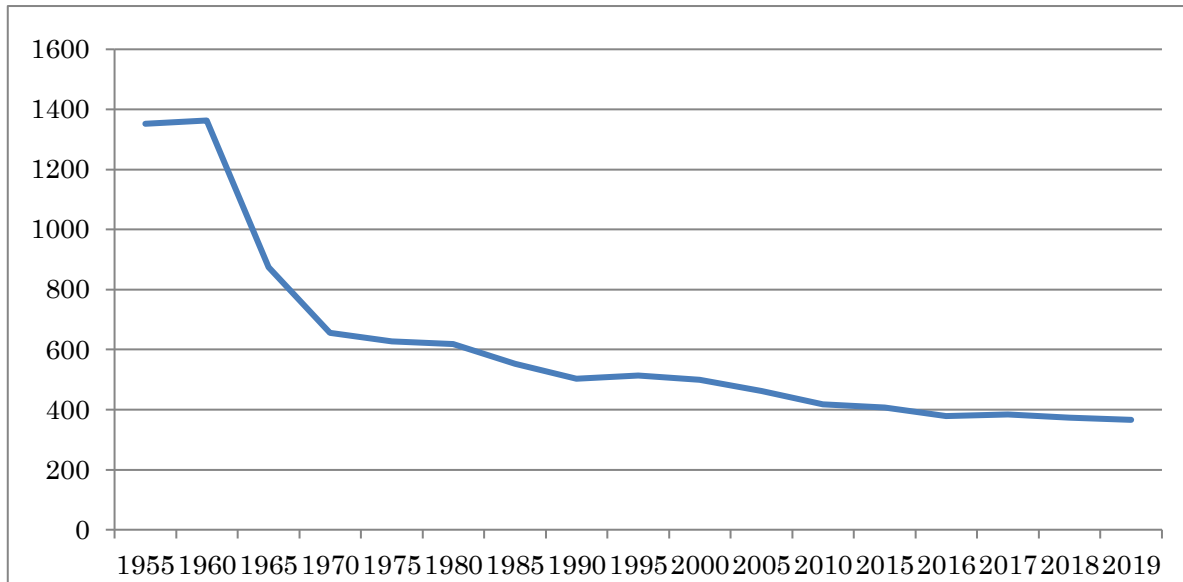
本ビジョンの策定に当たっては、国の「長期ビジョン」を勘案しつつ、人口の現状を分析し、今後の目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示するとの考え方から、対象期間は長期ビジョンの期間である 2050 年とします。ただし、人口ビジョンとともに策定する総合戦略との関係性を明らかにする必要から、5 年後、10 年後、20 年後といった区間を定めて、各時点での人口の展望も明示します。

## 3. 人口の現状と分析

### （1）人口の推移等

三島村の人口は、1960 年に 1,363 人でしたが、1970 年には 655 人と半減し、その後も減少傾向が続き、2015 年は 407 人となり、2019 年末には 366 人となっています。ただ、近年は、360 人から 390 人の間で増減しながら推移しています。

### 三島村の人口の推移



注：2016年以降は住民基本台帳ベース。それ以前は国勢調査

#### (2) 出生・死亡、転入・転出の推移と分析

出生数は、直近の6年間では18人が出生し、平均すると3人となります。2014年はゼロでした。

同様に、死亡数は29人となっており、平均で4.8人。毎年3人から8人が死亡しています。このことから、大まかな数字で示すと5人が死亡し3人が出生していることから毎年2人が減少するということになります。

また、転入・転出では、転入が総数で393人、平均すると65.5人となっています。転出は総数が372人で平均62人。転入、転出の差で見ると転入が21人多く、平均で毎年3.5人が増加しています。

出生・死亡、転入・転出で見ると、出生・死亡による減を転入・転出による増加で人口減少に歯止めをかけるとともに、人口増への道筋が見え始めています。この傾向を踏まえて各種の施策の効果を検証しながら、効果的な施策の拡充等を目指すべきであります。

## 人口の推移と人口増減要素の分析

区分	社会増減			自然増減			社会・自然	末現在人口
	転入+	転出-	計	出生+	死亡-	計	計	356
2014	79	55	24	0	5	-5	19	375
2015	65	53	12	5	4	1	13	388
2016	57	62	-5	2	6	-4	-9	379
2017	65	55	10	3	8	-5	5	384
2018	66	78	-12	4	3	1	-11	373
2019	61	69	-8	4	3	1	-7	366
合計	393	372	21	18	29	-11	10	2265
平均	65.5	62	3.5	3	4.8333	-1.83	1.666667	377.5

	学校	定住	留学	就離職	進学	その他	計
2016	2	-6	5	5	-5	-6	-5
2017	1	12	11	0	-8	-6	10
2018	-13	6	5	-7	-6	3	-12
2019	6	-1	5	0	-4	-14	-8

	1995-1999 5年間平均	2000-2004 5年間平均	2005-2009 5年間平均	2010-2013 4年間平均	1995-2013 19年間平均
転入数	49.8	51.0	61.4	51.8	53.6
転出数	51.4	64.8	61.0	58.8	59.0
出生数	2.6	4.0	1.4	1.8	2.5
死亡数	6.2	4.4	4.0	4.5	4.8

資料 まち・ひと・しごと創生本部「地域経済システム」(RESAS：リーサス)

### (3) 転入・転出の推移から見えること

#### 1) しおかぜ留学制度による児童・生徒の転入・転出

三島村では、豊かな自然の中での教育効果の向上や学校の活性化と教育の振興充実を図ることを目的に、村内4義務教育学校に入学又は転学を希望する児童・生徒の受入制度を1997年から導入しています。受入実績をみると、最も多い年で25人、2019年は23人となっています。この制度による児童・生徒の移動が人口増減に影響を及ぼしています。

#### 2) 教員の配置による影響

三島村の義務教育学校に配置される教員数は、学級の種類や数に応じて配置数が定められていることから、学校の規模により教員数が左右されます。また、定期異動で転出入があり、教員の家族構成により増減します。

このことから、教員の増員を期待するためには、空き学年を解消する取組が不可欠です。

### 3) 定住支援策による影響

三島村は定住支援策を継続に実施していることにより、転入者増へ貢献しており、引き続き継続的な実施が必要です。

現行、5割程度とされる定住率の向上に向けたさらなる施策の展開が必要です。

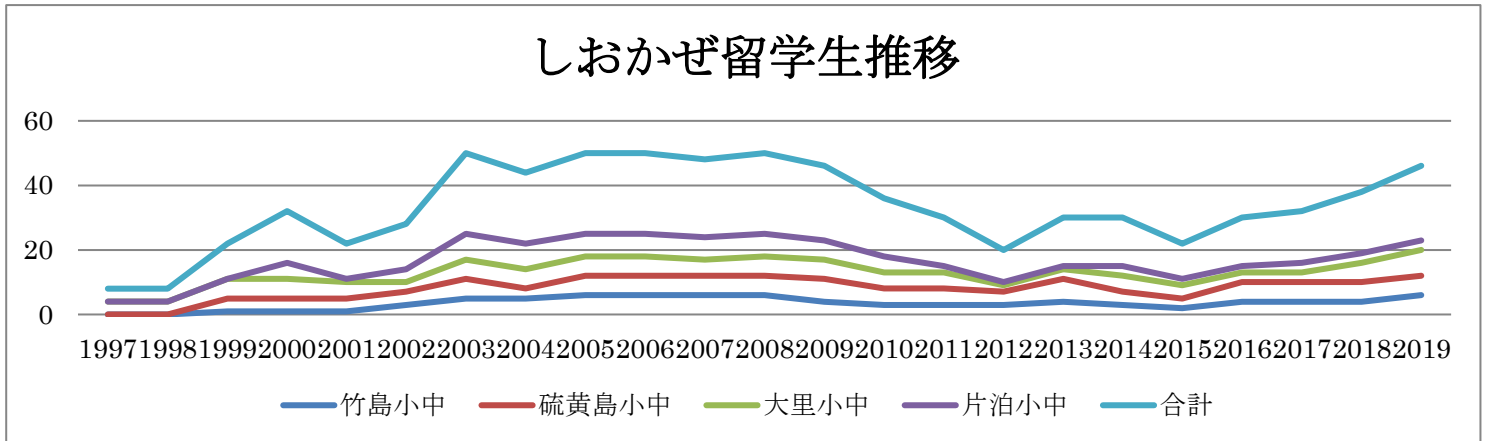
### 4) ジャンベ留学生の影響

三島村では、アジアで初のジャンベスクールが開校されたことを機に、手つかずの豊かな自然の中でジャンベを学びたい人を募集し6か月の短期留学生を毎年5人程度受け入れています。これも、人口減少を抑える役割を担っています。

現在、活動の拠点となる施設の改修計画があることから休止していますが、早急に施設の改修を終え、留学生の受入の再開を進めるべきです。その際、現行5人となっている受入人数の拡大も視野に検討すべきです。

また、地域おこし協力隊は、2020年4月現在、2人受け入れています。人口減少へ歯止め策および人口増への貢献度等から、活動内容の目的化とともに更なる増加を検討すべきです。

しおかぜ留学生の受入実績



### (4) 産業分類別就業者数の分析

2015年の産業分類別就業者数は195人で、村全体の人口の47.9%を占めています。島別には、硫黄島が最も多く86人、次に竹島61人、黒島48人となっています。

産業別には、教育・学習支援業が51人で最も多く、次に農林業が34人、建設業が26人、飲食店・宿泊業17人となっています。なお、製造業の従業者は関係事業所がないことから皆無となっています。

2010年との比較では、全体では17人の減少となり、建設業(▲20人)での減少が目立ちます。

また、生活関連サービス業・娯楽業が新たに4人と新規事業の誕生が見られることから引き続き注視する必要があります。

農林業が増加しているが、これは、村が畜産振興に力点を置いていることが大きく影響したと思われます。

図表 1-14 産業分類別就業者数

(単位:人、%)

	2015					2010	2015-2010 差増
	竹島	硫黄島	黒島	合計	構成比		
一次産業	12	17	9	38	19.5%	37	1
農林業	10	17	7	34	17.4%	28	6
漁業	2	0	2	4	2.1%	9	-5
2次産業	1	15	11	27	13.8%	46	-19
建設業	1	14	11	26	13.3%	46	-20
製造業		1		1	0.5%	0	1
3次産業	48	54	28	130	66.7%	129	1
電気・ガス・水道業等	1	2	3	6	3.1%	5	1
情報・通信業	1			1	0.5%	1	0
運輸業	4	3	3	10	5.1%	2	8
卸売・小売業	2	2	0	4	2.1%	6	-2
学術・専門・技術サービス業	2			2	1.0%		2
飲食店・宿泊業	6	7	4	17	8.7%	23	-6
生活関連サービス業・娯楽業	4			4	2.1%		4
医療・福祉	3	6	2	11	5.6%	8	3
教育・学習支援業	15	23	13	51	26.2%	51	0
複合サービス業	3	1		4	2.1%	8	-4
サービス業	3	2	1	6	3.1%	13	-7
公務	4	8	2	14	7.2%	12	2
就業者総数	61	86	48	195	100.0%	212	-17

資料 公益財団法人日本離島センター「離島統計年鑑」

#### 4、人口ビジョンの改定

三島村の人口の推移および増減分析並びに就業構造分析等から、第Ⅱ期総合戦略における人口ビジョンを次のように改定します。

現行の人口ビジョンは、2020年には400人を見込み、2050年には500人を見込んでいます。

一方、2019年12月末の村の人口は366人（199世帯）であり、2020年の目標400人に対して、34人不足しています。これまで、目標を定め、様々な施策を展開してきましたが、最大の課題は、新規定住者の希望はあるものの入居可能な住宅の確保ができていないことです。このため、Ⅱ期においては住宅整備を最優先課題として取り組みます。

また、看護師及び子育て広場の保育士の複数配置による増を見込みます。

さらには、小・中学校が義務教育学校へと学校種が変更になったことにより、教員の配置数の増が見込めます。

以上のように、住宅整備や看護師等の複数配置および教員の配置数の増などを考慮し、次期5年間で40人の増を見込み、2025年には400人の人口を目指すこととします。

### 三島村の人口将来推計

年	2010	2015	2019	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050
社人研推計	418	407	358	354	339	325	312	297	286	279
村の人口ビジョン	418	407	366	375	400	410	420	430	440	450
差増	0	0	8	21	61	85	108	133	154	171

